

3 イノシシ対策を通じた地域のまとまり、果樹振興

よこばば
【横馬場集落協定：佐賀市大和町】

【取組概要】

- 集落点検やワイヤーメッシュ柵の補修および協定構成員を対象とした研修の実施。
- 地域の研修会での繰り返し意識付け、耕作放棄地の解消、樹園地として再生。

地域の現状

当地区は、佐賀市西部に位置し、温州ミカンが主体の専業農家が多数だが、モモ・スモモや稲作との複合経営の農家も。

中心的な担い手には後継者がおり、若手も活発に経営に携わる。

集落のまとまりが強く協力的。

協定の概要(R5)

1. 取組面積 27.7ha
(田 2.5ha 畑 25.2ha)
2. 交付金額 279.4万円
個人配分 45%
共同取組 55%
3. 協定参加者 37人
農業者 37人

😊 交付金はこんなことに活用しています！

鳥獣被害防止対策費、
農道・水路管理費など

取組内容

ステップ1 取り組み開始のきっかけ、開始時の苦労点

- ・十数年前から鳥獣害、特にイノシシによる農作物被害が非常に増加し対策に苦慮した。また、小規模な園地が点在しているため、同一生産者の園地も点在していた。
- ・耕作放棄地や管理不足園地が散見されるようになった。

ステップ2 創意工夫した点

- ・集落全体でワイヤーメッシュの点検や補修に定期的に取り組んでいる。
- ・狩猟免許所有者を中心に捕獲班を編成、捕獲の基本を知ってもらい、箱わなの改善を行った。将来の耕作意向等についてアンケートを実施し、見えてきた課題について今後の取り組みの議を重ねた。
- ・優良園地の可視化のための園地評価を実施し圃場分級図を作成した。耕作放棄地のワイヤーメッシュ周辺の草刈りや地際部の掘り返し対策として、直管パイプや樹脂アンカーでの補強を行っている。
- ・みかん栽培をやめる場合のフローチャートを作り、耕作者から役員への報告をルール化した。

ステップ3 取り組みによる変化と今後の課題

- ・イノシシ被害の潜み場となっていた耕作放棄地が解消された。
- ・ミカン園は急傾斜地から廃園となっているので、中山間の
- ・(水田で遊休地が増加している作業性の良い)緩傾斜の園地への移行も視野に入れる。

【取り組みによる効果】

耕作放棄地が減少し園地流動化につながった。
実行力のある園地プランが作成できた。

【協定代表者から一言】

自走を目指すためにも関係機関の役割が重要



箱わなの改善指導



話し合いを重ねる



耕作放棄地（解消前）



耕作放棄地（解消後）